

戦争

玉城小学校 六年
山入端 円花

にげてにげてにげました。
まだ長く生きるため。

にげてにげてにげました。
自分の居場所を探すため。

にげてにげてにげました。
赤くそまった水たまり
必死に飲んでにげました。

変わってしまった
変わってしまった
村、人、街、自然
何もかもがおかしくなった。

目の前にある光景は
にげまどう人々と
焼け野原。

ぼうくうごうの暗やみで
耳をすませば 聞こえてくる。
だれかのうめき声。
助けを求める人の声。
遠くの大きな爆発音。

人々の顔に笑顔はない。
前のような笑顔はない。
ただ遠くを見つめて、
ただすきまからさしこむ光を見つめて
戦争が終わるのを待っている。
平和がくるのを待っている。

もうこんなことをしてはいけない。
みんなが悲しい思いをしてはいけない。
だれもがみんな願ってる。

平和を守り続けること。
今、向かい合おう。
苦しい現実と 笑いあえる世界を
みんなで作っていこう。

そして今日、六月二十三日
あなたの名が刻まれた
どこまでも続く礎。
あなたに想いが届くよう
正午のやさしい風へのせ
静かに手を合わせます。
これからも続く幸せのために。